

火災事例



火災が発生したときの状況

厨房で、ガスコンロと壁との間に、防火上有効な距離をとらず、毎日、長期間継続して使用



ステンレス板をはがした内部の状況

壁の内部のベニア板等に伝導過熱し、火災になりました。

炭化した部分

★ 厨房機器を使用するときは、壁から十分離して使うようにしましょう。

東京消防庁ホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>



今すぐ確認！！

火災を起こさないために

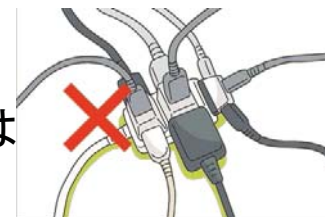
厨房機器の使用



- 厨房機器を壁に近づけて使用しない。
- 厨房機器の周辺に燃える物を置かない。
- 厨房機器とその周囲は毎日清掃を。
- 火をつけたらその場を離れない。

電気設備の使用

- コンセントに差したプラグは定期的に点検・清掃を。
- タコ足配線はしない。
- 照明器具と燃える物を接触させない。



たばこ火災対策



- 吸い殻をごみ箱や灰皿にためない。
- 吸い殻を捨てるときは水をかける。
- 寝たばこは絶対にしない。
- 防災品※を使う。

※ 防災品は、たばこの火が接しても燃え広がりにくいものとなっています。

放火対策



- 建物周囲の整理整頓
- 死角となる場所に燃える物を置かない。
- 施錠管理の徹底

消防訓練



- 119番通報の内容を確認する(住所、名称など)。
- 消火器の設置場所、使用方法を確認する。



① 安全ピンを抜く。



② ノズルを火点に向ける。



③ レバーを強く握る。

- メガホンや拡声器を準備し、避難方向を確認する。